

3 総評

平成 30 年度に執行された佐渡市教育委員会の所管事業の事業内容及び内部評価について、事務点検評価者として次のとおり総評する。

- (1) 各事業における自己評価の結果から、限られた人員と予算の中で、全体を通しておおむね期待した成果を上げていると認められる。
- (2) 担当課で諮問機関や附属機関等が設置されているものにあつては、そこでの意見や評価を汲み取って更なる事業の展開をお願いしたい。
- (3) 担当課による自己評価のランクが示されているが、前年度の自己点検の内容が的確に今年度に反映されているのか、判断しづらいものがあつた。評価票の記述にそのことも触れてほしい。
- (4) 佐渡市の置かれている現状は楽観できるものではない。将来を見据える中で教育施策の占める割合は大きいものがある。各担当課がより連携し、効果的な事業運営をしてほしい。今後も、事業の円滑な推進と総合的な視点からの評価方法の改善に期待する。
- (5) 「教育に関する事務の管理及び執行の点検及び評価」を実施して4年目となり、昨年の課題であつた、「より速やかな評価・点検」が行われ、次年度の予算編成に反映できるよう改善されたことは評価したい。

【項目別の主な評価、意見】

(1) 総合教育センター事業、学校教育振興事業、青少年育成活動事業

学力向上の面では、ある程度成果を上げているように思える。自己肯定感の低い児童生徒が多いように感じる。学校、地域、家庭が連携して取り組める活動を推進してもらいたい。

(2) 特別支援教育推進事業

個別に支援を必要とする児童生徒が増えているように思う。支援の必要な児童生徒在籍校へ介助員を優先的に配置したことは評価する。今後は、一般教員を含め介助員への支援、指導が行えるアドバイザーの配置について検討してほしい。

(3) 総合学習支援事業

「佐渡学」を中核とした郷土学習は多くの実践を通して成果を上げている。ITやALTなどと連携して外国語のガイドやパンフレット作成など学習内容の情報発信ができる要素は多いと思われる。ただし、学校の負担感が増すことがないように側面から支援してもらいたい。

(4) 生涯学習事業

- ① 市民大学講座の「自己評価ランク」が低い。成果には充実した講演内容であったとの評価があるため、評価方法について検討してほしい。参加者の意見を反映した運営を行い、評価は参加者数だけでなく参加者の満足度調査なども考慮してもらいたい。
- ② 人材バンク登録件数が目標値よりも低い。地域の人材活用、ボランティア登録者の増加や活用をはかる仕組みづくりを進めてほしい。

(5) 博物館・資料館管理運営事業

- ① 「博物館・資料館」等を中心とした参加・体験型の取組み内容が必要である。そのための体験内容、費用、受入可能人数、時間等について、調査検討を進めて、入館者の増につながるようにしてもらいたい。
- ② 学社（博学）連携が積極的に行われているとは感じられない。授業などに合わせた実物資料などの教材の貸し出し(提供)などを行い、地域理解を進めるよう努力してほしい。

(6) ジオパーク推進事業、世界遺産登録推進事業

それぞれが関連する事業として意識し、明確なストーリーのもとに、地域理解を進める活動とともに、ホームページでの周知をはじめ、人から人へ伝わり、人が人を呼ぶような方法など広く情報発信する視点からの評価項目も検討してほしい。

評 価

施策実施上注目すべき数値の一覧

基本目標	施策	指 標	H30 数値	R6 目標値	R6 数値
1	1	全国学力・学習状況調査の平均正答率の全国との差	小-0.1 中-1.5	小+2 中±0	
		標準学力検査NRTで偏差値50以上の教科の割合（小・中）	90%	95%	
	2	すべての学級で道徳の授業を公開している割合（小・中）	86%	100%	
		人権教育、同和教育に関する公開授業や指導案づくりを実施している割合（小・中）	100%	100%	
		3 学校給食における地産地消の献立の実施状況（小・中）	24%	30%	
	4	基準に基づく介助員の配置割合（小・中）	77%	100%	
		「個別の教育支援計画」を作成・活用している割合（小・中）	100%	100%	
5	保育園・幼稚園との教育活動の交流を行っている割合（保幼・小）	100%	100%		
2	6	課題解決学習を取り入れた職場体験活動を実施している割合（中）	76%	100%	
		「みらい'sノート」を活用したキャリア教育を実施している割合（小）	—	100%	
	7	小・中の英語教育の円滑な接続のための研修や交流を実施している割合（小・中）	86%	100%	
3	8	ICTの効果的な活用に関する授業研修を行っている割合（小・中）	5%	100%	
		8 通学路点検の実施割合（小・中）	100%	100%	
	9	防災教育の実施割合（小・中）	89%	100%	
		いじめの解消率（小・中）	84%	100%	
4	10	不登校児童生徒の割合（小・中）	小0.97% 中5.79%	小0.70% 中3.65%	
		11 大学や研究機関の関連施設や職員を活用した教育活動を実施している割合（小・中）	60%	80%	
5	11	大学・大学生等との交流を行った割合（小・中）	43%	60%	
		12 公民館利用者数	186,390人	169,500人	
	15	13 体育施設利用者数	510,672人	511,000人	
		14 図書館・図書室の来館者数	14.9万人		
		博物館・資料館及び類似する文化施設に入館した割合（小・中）	25%		
		佐渡金銀山ガイド施設「きらりうむ佐渡」を会場とする普及啓発事業への参加者数	—	500人	
		世界遺産を目指す佐渡金銀山をテーマとした講演会・講座等の件数	76件	90件	
16	ジオパーク推進事業に携わった人数	4,328人	5,000人		
埋蔵文化財出前授業の件数	6件	14件			
6	17	16 市展出品点数	1,328点		
		P T A等で家庭教育啓発活動を実施している割合（小・中）	86%	100%	
		地域コーディネーターを活用し、地域との連携・協働を図っている学校（小・中）	77% 27校	100% 35校	
	18	学校運営協議会を設置し、地域学校協働活動を実施している学校（小・中）	3% 1校	100% 35校	
		18 幼児児童生徒の現状把握のため、関係機関と連携している割合（幼保・小・中）	100%	100%	